

1 令和4年度補正予算について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

※議題2及び議題3は一括して審議

2 環境基本方針の策定について

【提 案】 環境部

【結 果】 承認

【質疑等】

3 ECO オフィスプラン(第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編))の策定について

【提 案】 環境部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 基本方針および実行計画について、室長級職員での会議の他に庁内で会議をしたことがあるか。また、どれくらいの頻度で行ったのか教えてほしい。
⇒ 環境推進調整会議を1回開催した。
- ・ 実行計画3ページを見ると前回のオフィスプランとの期間が1年空いているように見えるが、その理由について。
⇒ できれば期間を空けることなく実施したかったが、去年の4月に国から46%という数字が一旦出され、これが正式な数字として示されるのを待っていたが、それ以降も国から計画が示されず確認しても正式な数字が出なかったことや、第2次地球温暖化対策実行計画も同時作業となっていたことが要因となり、期間が空いてしまった。
- ・ どれくらい議論があったのか気になったのは、方針の(5)で職員に対しては、環境意識向上のための研修とあるが、方針の(3)市民や事業者と協働による持続可能なまちづくりの推進とある。協働を前提として認識の共有を図るという部分では、市民や事業者への意識の向上、啓発があっても良かったのではないかと思い、どのような議論がされたのか質問した。
⇒ (3)については、事務事業編でなく区域施策編で市民等への啓発も示す予定であり、事務事業では、行政が何か事業をするときに協働を意識しながら行うとか、連携を意識しながら行うといった行政主体の視点で考えた。
- ・ 電力調達価格が不安定になっている中で、電力使用量の69%をカーボンフリーの電気を

購入目標としているが、電力調達価格の変動と環境への取組などの全体の調和について考えがあれば教えてほしい。

- ⇒ 環境推進調整会議でも、公共施設で省エネ・再エネを進めるとあるが、費用の面についてどう考えているのかとの質問があった。環境サイドとしては、当然環境に配慮したいとの思いがあるが、コストの問題もあるため、例えば施設においては国の補助を活用して実施していく等を考えている。電気の購入も同様であると考えている。現段階で明確に 69%変えますという計算がある訳ではないが、企業も RE100 を謳ってきているところも多いため、行政としてはそれ以上の基準で作らないといけないと考えている。エネルギー環境が複雑な状況になってきており、電気の調達も難しい部分もあるため、基本的には再エネの導入も視野に入れながらと考えている。例えば、市民向けの太陽光発電共同購入を実施している中で、電力を共同購入する仕組みを作るとかこれを自治体でも検討できないか等の色々な新しい動きもある。このあたり明確に見えている訳ではないが、色々なアンテナを張りながら、予算のことも相談しつつ、2030 年を目標に据えて皆さんと共に考えてさせていただきたい。
- ・ 灯油に関して、火葬場の使用が増加傾向と認識されている中では、使用量も増えると思うが、目標を減少値としている考え方について教えてほしい。
- ⇒ 焼却炉の更新等もあるが、大きく増やさないという方向を目標として実施していきたいと考えており、明確な基準はないものの 1 割減を目標値として設定した。